



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトブレイン株式会社

コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 豊田 浩文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 木下 鉄平

TEL 03-6214-1700

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,959	23.7	407	56.7	408	50.3	238	11.5
23年12月期第3四半期	2,392	△4.6	259	△12.3	271	△6.2	213	64.1

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 288百万円 (8.2%) 23年12月期第3四半期 266百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年12月期第3四半期	815.35	—
23年12月期第3四半期	731.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年12月期第3四半期	2,900	2,051	59.9	5,938.13
23年12月期	2,454	1,759	61.1	5,123.37

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,737百万円 23年12月期 1,498百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,000	17.7	520	16.9	530	16.6	335	△3.2	1,145.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	309,550 株	23年12月期	309,550 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	17,000 株	23年12月期	17,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	292,550 株	23年12月期3Q	292,550 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要による景気の拡大が期待されましたが、依然として円高基調の為替水準や、欧州危機に端を発した海外経済の減速の影響を受け、景気は足踏み状態を続けています。さらには、中国経済の減速や、今後の増税、不安定な雇用環境などが個人消費に与える影響についても懸念されており、景気動向の先行きには予断を許さない状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、「ツールとサービスの融合」「ボリュームゾーンへの挑戦」「スピードアップと効率化の実践」を経営方針とし、業績向上に向けて取り組んでまいりました。これらの経営方針をもとに、SFA/CRMパッケージソフト「eセールスマネージャーRemix Cloud」を中心としたツールの提供と、「営業マン育成コンサルティング」や「フィールドマーケティング」などのサービスの提供を推進しております。これらの主力事業がいずれも好調に推移したことから、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,959百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

利益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益407百万円（前年同期比56.7%増）、経常利益408百万円（前年同期比50.3%増）、当期純利益238百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

セグメント別に見ますと、「eセールスマネージャー関連事業」では、近年企業間でも普及が進んでまいりました、スマートフォンやタブレット端末でも利用可能な「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売を中心に、他システムとの連携開発や、「営業マン育成コンサルティング」をはじめとした教育研修などのサービスを提供しております。当期においては、主力製品である「eセールスマネージャーRemix Cloud」への、地図機能や名刺自動読み取り機能など、お客様企業で営業活動の効率化がより一層図れるような機能追加を実施しております。また、次期以降を見据えて、組織体制の強化を目的とした人材の採用や、販売促進、広告宣伝の強化にも努めてまいりました。以上の結果、売上高1,494百万円、セグメント利益179百万円となりました。

「フィールドマーケティング事業」では、主に店頭における営業支援活動及びマーケットリサーチ事業を手掛けております。当事業では品質向上を常に意識するとともに、企業ニーズの高まりに応えるよう営業活動を続けた結果、大型案件の獲得や継続案件の受注が続くなど好調に推移しております。また次期以降の成長を見据えた基盤作りの一環として、人材の採用や組織体制の強化に努めております。以上の結果、売上高892百万円、セグメント利益167百万円となりました。

「システム開発事業」では、豊富な開発経験を持つ当社エンジニアと、中国・青島の当社子会社との連携により、システムを高品質かつ低コストでお客様へ提供しております。当期は主に既存顧客における更なる開発案件の創出と、新規顧客の獲得に努めてまいりました。その結果、売上高389百万円、セグメント利益23百万円となりました。

「その他」は、MVNO・MVNE事業、書籍企画販売事業を中心に、売上高364百万円、セグメント利益30百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ446百万円増加し、2,900百万円となりました。これは主に、現金及び預金が440百万円増加したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ154百万円増加し、849百万円となりました。これは主に、前受金が48百万円、支払手形及び買掛金が29百万円、未払金が20百万円それぞれ増加したことによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ291百万円増加し2,051百万円となりました。これは主に、利益の計上により利益剰余金が238百万円増加したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、59.9%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、本日開示の「平成24年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、主力製品である「eセールスマネージャーRemix Cloud」について、スマートデバイスの普及によりお客様企業での導入が進んだ結果、販売や受注が好調に推移しております。さらには、主に店頭における営業支援活動及びマーケットリサーチを行う「フィールドマーケティング事業」についても、高い品質が評価され、大型案件の獲得や継続案件の受注が続くなど、主力事業がいずれも好調に推移したことから、売上高の増加に伴い営業利益、経常利益、当期純利益につきましても計画を上回って推移しているため、通期業績予想の修正を行っていません。

また、上記に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,134	1,707,983
受取手形及び売掛金	487,151	428,288
商品及び製品	51,425	51,796
仕掛品	26,826	107,590
原材料及び貯蔵品	550	525
繰延税金資産	143,304	95,195
その他	111,166	65,107
貸倒引当金	△2,160	△3,950
流動資産合計	2,085,399	2,452,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,859	47,536
減価償却累計額	△29,902	△35,386
建物及び構築物(純額)	15,957	12,149
その他	237,042	246,345
減価償却累計額	△194,752	△210,303
その他(純額)	42,290	36,042
有形固定資産合計	58,247	48,192
無形固定資産		
ソフトウェア	171,316	206,924
のれん	559	—
その他	915	14,415
無形固定資産合計	172,791	221,340
投資その他の資産		
投資有価証券	11,199	7,891
差入保証金	42,563	86,159
破産更生債権等	35,271	35,271
繰延税金資産	78,282	79,489
その他	6,143	5,138
貸倒引当金	△35,271	△35,271
投資その他の資産合計	138,189	178,679
固定資産合計	369,228	448,211
資産合計	2,454,627	2,900,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,319	154,999
短期借入金	150,861	150,863
未払金	66,828	86,862
未払役員賞与	7,699	—
未払法人税等	43,678	64,990
前受金	170,308	218,311
賞与引当金	39,614	62,287
役員賞与引当金	—	10,432
返品調整引当金	6,490	11,630
その他	84,058	89,236
流動負債合計	694,857	849,611
負債合計	694,857	849,611
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	325,447	563,979
自己株式	△263,285	△263,285
株主資本合計	1,504,960	1,743,492
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,117	△6,293
その他の包括利益累計額合計	△6,117	△6,293
少数株主持分	260,927	313,935
純資産合計	1,759,770	2,051,135
負債純資産合計	2,454,627	2,900,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,392,185	2,959,553
売上原価	1,206,872	1,479,494
売上総利益	1,185,313	1,480,058
割賦販売未実現利益戻入額	3,456	180
返品調整引当金繰入額	—	11,150
差引売上総利益	1,188,769	1,469,088
販売費及び一般管理費	929,002	1,061,936
営業利益	259,767	407,151
営業外収益		
受取利息	296	659
持分法による投資利益	1,995	—
補助金収入	10,797	3,168
その他	1,785	3,671
営業外収益合計	14,874	7,499
営業外費用		
支払利息	2,106	1,429
持分法による投資損失	—	3,057
為替差損	556	676
その他	136	930
営業外費用合計	2,799	6,092
経常利益	271,842	408,558
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,102	—
特別利益合計	2,102	—
特別損失		
固定資産除却損	2,040	2,627
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,931	—
減損損失	—	2,961
特別損失合計	8,972	5,589
税金等調整前四半期純利益	264,971	402,968
法人税、住民税及び事業税	38,781	63,276
法人税等調整額	△40,980	51,002
法人税等合計	△2,198	114,279
少数株主損益調整前四半期純利益	267,169	288,689
少数株主利益	53,280	50,157
四半期純利益	213,889	238,531



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	267,169	288,689
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△592	△175
四半期包括利益	266,577	288,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,472	238,408
少数株主に係る四半期包括利益	53,104	50,105

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,481,752	841,807	296,404	2,619,963	339,589	2,959,553	—	2,959,553
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,556	50,352	92,854	155,763	25,169	180,932	△180,932	—
計	1,494,308	892,159	389,258	2,775,727	364,759	3,140,486	△180,932	2,959,553
セグメント利益	179,167	167,202	23,205	369,575	30,837	400,412	6,739	407,151

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、MVNO・MVNE事業、書籍企画販売事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額6,739千円には、固定資産の調整額7,060千円、棚卸資産の調整額△320千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当会計年度第1四半期連結累計期間から、成長戦略に則ったマネジメント・アプローチの考え方にに基づき、より事業の実態に即し「eセールスマネージャー関連事業」及び「フィールドマーケティング事業」の2セグメントから、「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」及び「システム開発事業」の3セグメントに変更しております。各報告セグメントに属する主要な製品・サービス種類は、下表のとおりであります。

報告セグメント	主要商品
eセールスマネージャー関連事業	ソフトウェアのライセンス、Cloudサービス、コンサルティング、カスタマイズ開発、教育研修
フィールドマーケティング事業	フィールド活動業務、マーケット調査
システム開発事業	ソフトウェアの受託開発、オフショア開発、BPO推進事業